

木漏れる広場

concept

大井町ってどんな街なんだろう。

乗換の便利な街

デパートの多い街。

買い物の出来る街。

でもどれもびんとこない。それはきっと

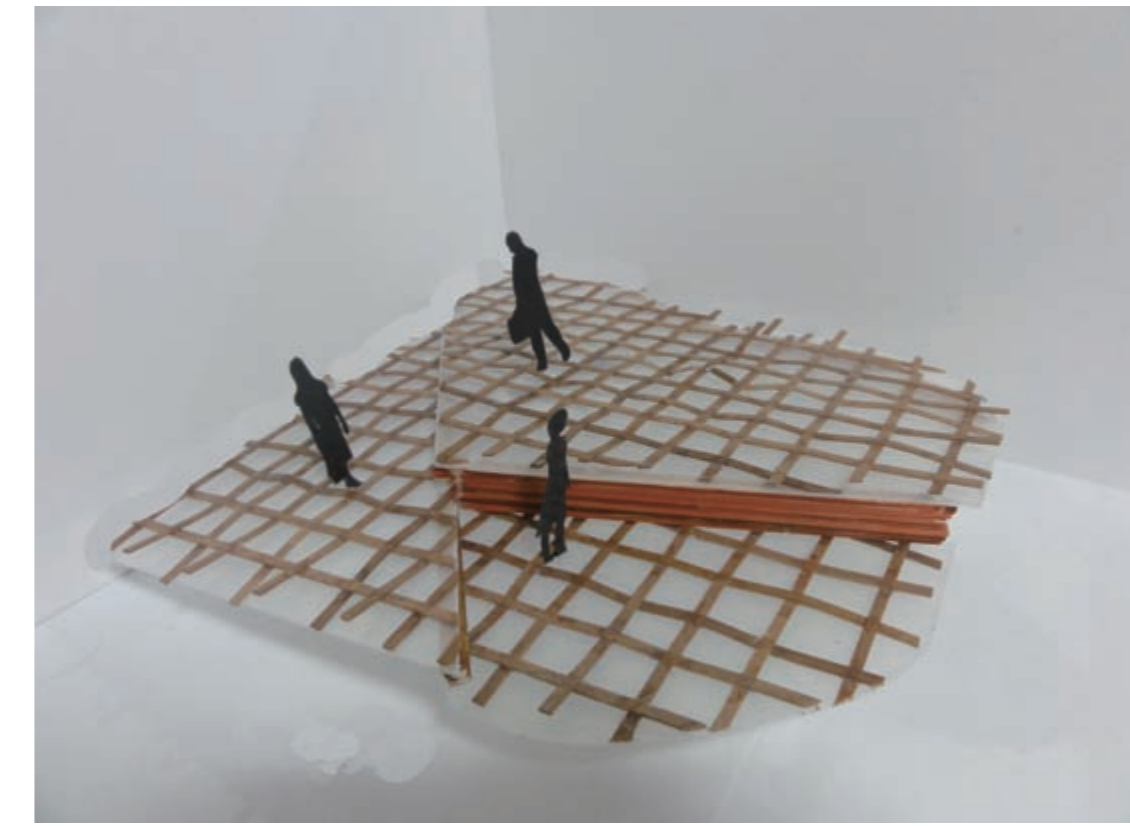
大井町らしさがこの街にはないからだ。この街を1つの雰囲気で包み込めたら

それはきっと歩いて楽しい街になるだろう。いろんな路線の駅から駅へ、

デパートからデパートへ人がつながればもっと街がにぎわうだろう。

みんなが使いやすい気持ちのいい緑地があればもっともっと人が集まるだろう。

大井町に大井町らしさのある街が出来たら、それはどんな素晴らしい事だろう。



駅前広場

もし駅前に人々が集まる

大きな広場があったならば

人がたくさん集まるだろう。

そんな広場を空に浮かせば

歩行者にも運転者にも

使いやすい、誰にでもやさしい広場になるだろう。

そんな優しい広場はきっと大井町に新しい雰囲気をもたせよう。

きっと地上にも木漏れ日が降り注ぐ優しい空間になる。



緑の道

大井町に子供にもお年寄りにも

使いやすい気持ちのいい緑の道が

できたら。そしたらきっともっと

街が好きになる。緑の道には

笑顔があふれ大井町がもっと

明るくなる。もっと街が

私たちの生活に近くなる。

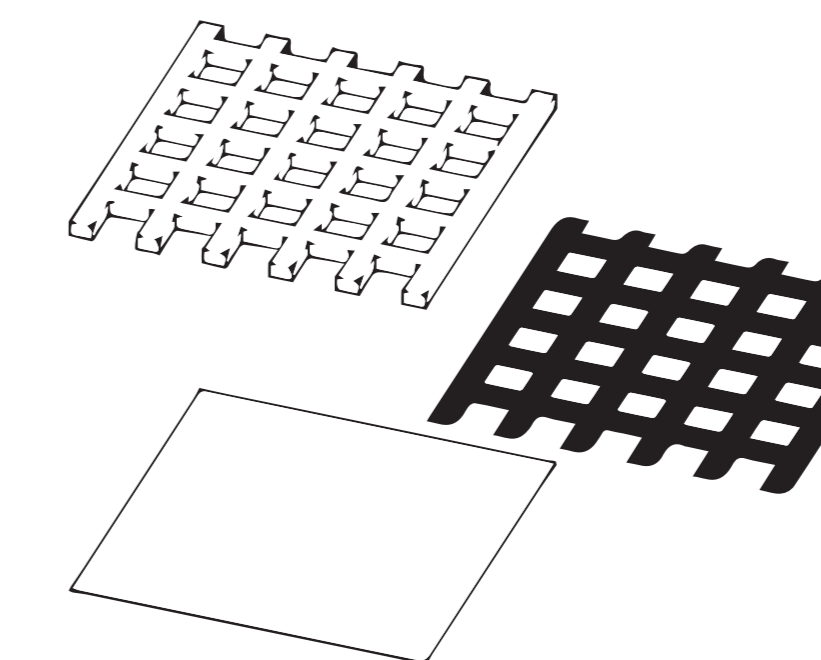
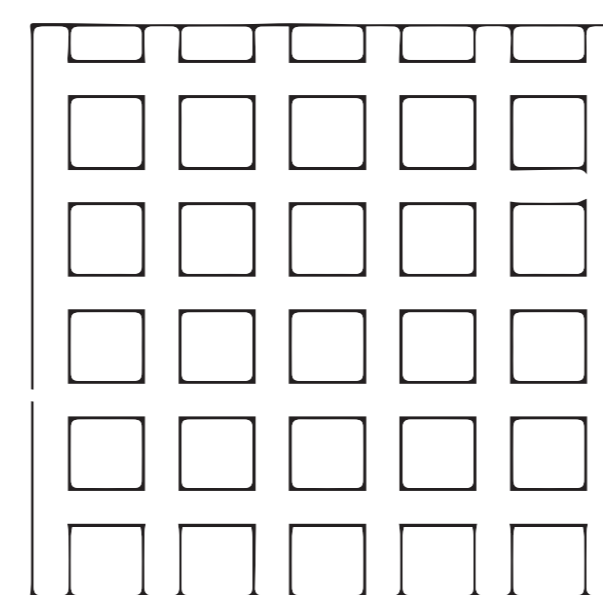
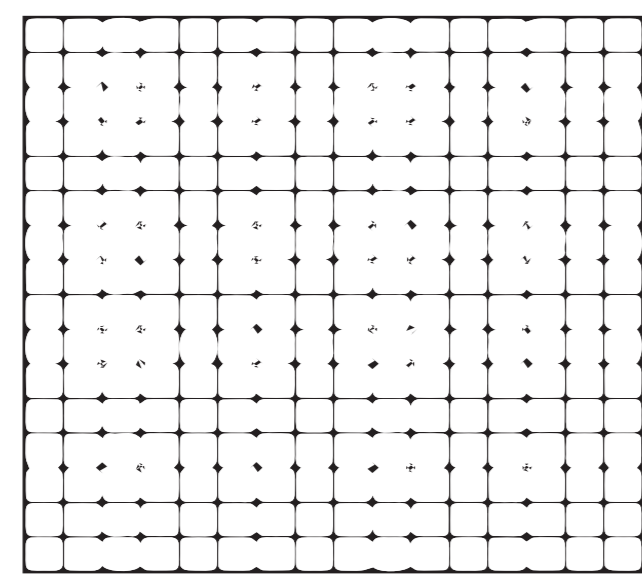
大井町が1つのデザインで

包まればもっともっと大井町が

大井町らしくなる。



形が産まれるきっかけ



広場に穴をあけると

木漏れ日の様な暖かい光が差し込む

～人があつまる大井町駅前中央通りアイデアコンペ～

提案要旨説明書

■作品タイトル

木漏れる広場

■提案要旨

大井町。大井町とは一体どのような街なのだろうか？交通の要所としての大井町、落ち着いた街、買い物の出来る街。そのどれもがあてはまるがどれもじっくりと来ない。それはなぜか？きっと大井町が確固たるアイデンティティを持ち合わせてないからではないからだろうか？街に住む人々はその街がもつアイデンティティに惹かれ集まる。言い換えるならばその街で時間を過ごすことが目的なのだ。しかし大井町には確固たるアイデンティティがないため、大井町で過ごす事が目的とならない。駅前で買い物して終わり、乗り換えて終わり、街を楽しむ事が目的にならないのだ。

このような現状の中で私は多い街に確固たるアイデンティティを作り、大井町自体を楽しめるような街にしたいと考えた。もし今ある大井町の駅前の広場の上に駅から駅へ、デパートからデパートへ、駅からデパートへつなぐ広場が出来たらどうだろう。今までのような煩わしいロータリーを横断するための待ち時間、危険がなくなり誰しもが安全と歩けるようになるだろう。そして広場としての駅前に人々は集まり、大井町としての空気を作り出していこう。

具体的にatreからなるGLから約6メートルの高さにatreの二階からイトーヨーカドーまで約25メートル四方にvolumを設け大井町利用者に新たなアイデンティティを提供する。地上より上に広場が出来ることにより太陽の光をより受ける広場を提供できる。

床をグリット状にくり抜くことによって地上にも光が届くようになる。

また駅付近から少し外れた敷地の両方の歩道と中央の空間をすべて芝にして、若干の凹凸をつけ木をグリット状に乗せることで歩行者の動線を誘発する。

大井町には少ない緑が駅から少し離れた敷地にあることによって普段は買い物などが目的の人々に緑を目的にこの敷地に来てもらい新しい大井町のアイデンティティを感じてもらおう。駅前と駅から少し離れた敷地に統一性を持たせることにより広場から広場へという新しい動線、アクティビティも生まれる。そうすることにより大井町の魅力が新しいものとなり新しい街を作り上げていく。

※なぜこのような提案としたのかという理由や、特に工夫した点、アピールしたい点などを自由に記載してください。